≪課題提出について≫

本研修は受講生の指導事例を使用して演習を行いますので、必ず演習で使用可能な指導事例をご提出ください。

事例は、以下の注意事項に留意し、受講生が他の介護支援専門員等に対して指導を行った指導 事例を作成し、研修申込時に提出してください。

【◆ 提出内容 ◆】

作成する書類(様式)		提出
演習事例提出シート 【Aシート】 又は 【Bシート】	【Aシート】 地域包括支援センター又は居宅介護支援事業所に 勤務している方が介護支援専門員へ指導した事例	1 部 (両面印刷)
	【Bシート】 上記以外の方(包括・居宅以外の方)が指導した 事例 (地域ケア会議又は事例検討会等で指導した事例も 含みます。)	
事例提供に 関する 誓約書・同意書	バイジーとバイザーが押印した用紙(原本)は、 バイジーに手渡し、コピーを提出してください。 ※同意書が提出できない事例は不可。	1枚(コピー)

- ※ 課題様式は『兵庫県介護支援専門員協会』のホームページからダウンロードできます。家族 構成については手書きでも構いません。パソコンが使用できない場合は、ボールペン等で記 入してください。
- ※ パソコンで記入する場合は、字体は「明朝体」で入力してください。
- ※ 原本は必ず1部、保管しておいてください。

【◆ 支援・指導を行った事例(指導事例という)◆】

対象の事例について(支援・指導を行った事例)

バイザーとは		バイジーを支援・指導したあなた自身(主任介護支援専門員の資格取得者)
バイジーとは		下記の利用者を担当している介護支援専門員又は相談員等
利用者	対象	在宅で生活しておられる方又は介護保険施設入所、グループホーム、 サービス付高齢者住宅、ケアハウス、有料老人ホーム等に入居されている方、 入院中で退院に向けて検討されている方のうち、要介護認定を受けている方
	対象外	要介護認定を受けていない方 自分が担当している方(あなたが「支援・指導を行った事例」が対象のため)

【◆ 注意事項 ◆】

記入する項目については、以下を参考にしてください。

バイザー及びバイジーの経験年数、利用者の年齢や要介護度等の状況等、事例の内容は、相談を受けた時点の情報を記入してください。

利用者及び介護支援専門員又は相談員等のプライバシー保護のため、以下の例に従って記入してください。

0 0 0 0 0 0	
カテゴリーとは	提出する指導事例の内容に含まれるカテゴリーをすべて選択してください。 ※内容により、選択されたカテゴリー以外の科目の演習で使用する場合があります。 ①「リハビリテーション及び福祉用具の活用」(リハビリ) ②「看取り等における看護サービスの活用」(看取り) ③「認知症」(認知症) ④「入退院時等における医療との連携」(医療連携) ⑤「家族への支援の視点」(家族支援) ⑥「社会資源の活用に向けた関係機関との連携」(社会資源) ⑦「状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービス、施設サービス等) の活用」(多様なサービスの活用)
所属機関種別	介護保険関係事業所の種類(例:地域包括支援センター、居宅介護支援事業 所、介護老人保健施設、小規模多機能型居宅介護…)を記入してください。
経験年数	相談を受けた時点での実務経験の通算年数を記入してください。
利用者氏名	A さん (※イニシャルは使用しない。)
利用者の自立度	「障害高齢者の日常生活自立度」「認知症高齢者の日常生活自立度」において、該当するランクを記入してください。
介護支援専門員 又は相談員等	Bさん (※イニシャルは使用しない。)
事業所名	記号(例:C事業所 D医院 Eデイサービス F市サービスセンター 等)
地域名称	記号(例:G県 H市 J区 K町等)
固有名詞等	固有名詞はすべて記号で記載する(例:L大学 M会社 等)

※本書と別添の記入例をご参照いただき、所定の書式に記入の上、 必ず、A4サイズ1枚(両面)にまとめて提出してください。